

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【四半期会計期間】	第24期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社エックスネット
【英訳名】	XNET Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 茂谷 武彦
【本店の所在の場所】	東京都新宿区荒木町13番地4
【電話番号】	03（5367）2201
【事務連絡者氏名】	管理本部チーフマネジャー 坪田 浩司
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区荒木町13番地4
【電話番号】	03（5367）2201
【事務連絡者氏名】	管理本部チーフマネジャー 坪田 浩司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第2四半期累計期間	第24期 第2四半期累計期間	第23期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	1,511,543	1,540,493	3,005,292
経常利益 (千円)	248,480	217,056	497,798
四半期(当期)純利益 (千円)	147,470	134,316	295,138
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	783,200	783,200	783,200
発行済株式総数 (株)	41,308	4,130,800	4,130,800
純資産額 (千円)	5,597,590	5,648,250	5,629,595
総資産額 (千円)	6,191,908	6,280,677	6,213,519
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	35.70	32.52	71.45
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	2,800	28	56
自己資本比率 (%)	90.4	89.9	90.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	200,212	199,885	460,317
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	421,912	523,189	376,218
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	115,579	115,417	231,473
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	836,938	588,121	1,026,843

回次	第23期 第2四半期会計期間	第24期 第2四半期会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	16.92	19.89

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、当社は子会社及び関連会社を一切有していません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当社はXNETサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は示していません。

経営成績の分析

(売上高)

平成27年3月期第2四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）は、中核商品である「XNETサービス」の売上高が1,530百万円（前年同期比1.7%増）となり、機器販売等を含めた売上高は1,540百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

「XNETサービス」は、平成24年3月期第4四半期より、顧客の合併やシステム投資抑制等により前年同期比減収が続いておりました。当第2四半期においては、前期より実施してきた新規サービス（BPO等）の積極的な展開が実を結び、また、既存顧客の利用料減少傾向も一段落したことから、11四半期ぶりに前年同期比増収に転じています。

機器販売等の売上高は10百万円（前年同期比47.1%増）となりました。

売上高の内訳は以下の通りです。

品目	平成26年3月期 第2四半期累計期間		平成27年3月期 第2四半期累計期間	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
XNETサービス	1,504	99.5	1,530	99.3
機器販売等	6	0.5	10	0.7
合計	1,511	100.0	1,540	100.0

(営業利益、経常利益、四半期純利益)

当第2四半期累計期間においては、将来の「XNETサービス」の発展に向けた開発が継続中であることや、BPOサービスに係る費用の発生もあり、売上原価は前年同期比増加しております。

その結果、営業利益204百万円（前年同期比8.8%減）、経常利益217百万円（前年同期比12.6%減）と減益となりました。四半期純利益については、134百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

財政状態の分析

当第2四半期会計期間末の総資産は、主に仕掛品とソフトウェアが増加することで前期末比67百万円増の6,280百万円となりました。負債につきましては、未払消費税等や引当金の増加により前期末比48百万円増の632百万円となりました。純資産は繰越利益剰余金の増加により前期末比18百万円増の5,648百万円となり、自己資本比率は89.9%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は588百万円（対前事業年度末比438百万円減）となりました。

当第 2 四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は199百万円（前年同四半期は200百万円の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は523百万円（前年同四半期は421百万円の使用）で、主に投資有価証券の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は115百万円（前年同四半期は115百万円の使用）で、配当金の支払いによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,476,800
計	16,476,800

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,130,800	4,130,800	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	4,130,800	4,130,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千 円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	4,130,800	-	783,200	-	1,461,260

(6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	東京都江東区豊洲3-3-3	2,106,700	51.0
小林 親一	東京都北区	179,300	4.3
吉川 征治	東京都千代田区	123,900	3.0
渡邊 久和	東京都港区	123,900	3.0
鈴木 邦生	神奈川県横浜市戸塚区	55,500	1.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	49,400	1.2
村上 重昭	三重県津市	29,200	0.7
茂谷 武彦	東京都渋谷区	28,200	0.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	23,700	0.6
坂本 洋介	東京都港区	22,500	0.5
計	-	2,742,300	66.4

(注)日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式は信託業務に係わる株式であります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,130,100	41,301	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 700	-	-
発行済株式総数	4,130,800	-	-
総株主の議決権	-	41,301	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,226,843	788,121
売掛金	104,775	155,300
商品及び製品	-	309
仕掛品	9,660	30,298
前払費用	15,553	15,072
繰延税金資産	33,190	33,710
関係会社預け金	1,957,168	1,973,133
その他	9,394	10,588
貸倒引当金	136	201
流動資産合計	3,356,448	3,006,332
固定資産		
有形固定資産		
建物	25,921	25,921
減価償却累計額	16,186	17,008
建物(純額)	9,734	8,912
工具、器具及び備品	146,671	148,692
減価償却累計額	133,690	136,510
工具、器具及び備品(純額)	12,980	12,181
有形固定資産合計	22,715	21,094
無形固定資産		
ソフトウェア	581,639	608,304
ソフトウェア仮勘定	359,544	394,078
電話加入権	993	993
無形固定資産合計	942,176	1,003,376
投資その他の資産		
投資有価証券	1,634,916	1,838,271
敷金及び保証金	150,532	150,532
長期預金	-	150,000
繰延税金資産	106,730	111,070
破産更生債権等	7,275	7,275
貸倒引当金	7,275	7,275
投資その他の資産合計	1,892,178	2,249,873
固定資産合計	2,857,070	3,274,345
資産合計	6,213,519	6,280,677

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	552	1,046
未払金	122,736	101,820
未払費用	28,557	30,964
未払法人税等	85,009	90,874
未払消費税等	6,466	43,305
前受金	630	-
預り金	12,866	13,409
賞与引当金	67,826	70,523
役員賞与引当金	-	9,091
その他	167	173
流動負債合計	324,811	361,209
固定負債		
退職給付引当金	257,077	269,160
資産除去債務	2,034	2,057
固定負債合計	259,112	271,218
負債合計	583,923	632,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	783,200	783,200
資本剰余金		
資本準備金	1,461,260	1,461,260
資本剰余金合計	1,461,260	1,461,260
利益剰余金		
利益準備金	17,397	17,397
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,367,738	3,386,392
利益剰余金合計	3,385,135	3,403,790
株主資本合計	5,629,595	5,648,250
純資産合計	5,629,595	5,648,250
負債純資産合計	6,213,519	6,280,677

(2)【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高		
役務収益	1,504,612	1,530,295
商品売上高	6,930	10,197
売上高合計	1,511,543	1,540,493
売上原価		
役務原価	1,097,185	1,142,261
商品売上原価		
商品期首たな卸高	73	-
当期商品仕入高	3,787	9,763
合計	3,861	9,763
商品期末たな卸高	73	309
商品売上原価	3,787	9,454
売上原価合計	1,100,973	1,151,715
売上総利益	410,569	388,777
販売費及び一般管理費		
業務委託費	16,235	15,790
給料及び手当	95,541	96,381
賞与引当金繰入額	2,453	2,565
役員賞与引当金繰入額	10,750	8,420
退職給付費用	4,708	5,572
法定福利費	3,976	3,720
賃借料	5,958	5,958
支払手数料	30,763	29,808
貸倒引当金繰入額	54	65
その他	16,078	16,101
販売費及び一般管理費合計	186,411	184,384
営業利益	224,157	204,392
営業外収益		
受取利息	3,907	3,596
有価証券利息	10,445	8,824
違約金収入	9,601	-
雑収入	368	243
営業外収益合計	24,322	12,664
経常利益	248,480	217,056
税引前四半期純利益	248,480	217,056
法人税、住民税及び事業税	100,600	87,600
法人税等調整額	410	4,860
法人税等合計	101,010	82,740
四半期純利益	147,470	134,316

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	1,497,746	1,489,337
原材料又は商品の仕入れによる支出	3,295	9,268
未払消費税等の増減額(は減少)	10,145	36,839
人件費の支出	773,750	730,415
その他の営業支出	460,412	520,055
小計	270,433	266,436
利息及び配当金の受取額	11,673	15,524
違約金の受取額	9,601	-
法人税等の支払額	91,496	82,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,212	199,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	7,830	2,657
無形固定資産の取得による支出	239,728	147,844
投資有価証券の取得による支出	712,436	306,722
投資有価証券の償還による収入	-	100,000
定期預金の預入による支出	200,000	150,000
定期預金の払戻による収入	941,962	-
関係会社預け金の預入による支出	203,879	15,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	421,912	523,189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	115,579	115,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	115,579	115,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	337,279	438,721
現金及び現金同等物の期首残高	1,174,217	1,026,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,511,496	1,465,564

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	1,036,938千円	788,121千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	200,000	200,000
現金及び現金同等物	836,938	588,121

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	115,662	2,800	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月25日 取締役会	普通株式	115,662	2,800	平成25年9月30日	平成25年12月2日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月26日 定時株主総会	普通株式	115,662	28	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年10月29日 取締役会	普通株式	115,662	28	平成26年9月30日	平成26年12月1日	利益剰余金

(注) 平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

当社は、XNETサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	35円70銭	32円52銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	147,470	134,316
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	147,470	134,316
普通株式の期中平均株式数(株)	4,130,800	4,130,800

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年10月29日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・115,662千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・28円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成26年12月1日

(注) 平成26年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月14日

株式会社エックスネット

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森本 泰行 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 矢嶋 泰久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エックスネットの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第24期事業年度の第2四半期会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エックスネットの平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。